報道資料

八代市
YATSUSHIRO

令和5年6月29日
企画政策課

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）の採択について

～新八代駅とくまモンポート八代を繋ぐ AI オンデマンドバスの実証実験～

国土交通省において新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とした「道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）」に、本市が提案した「デジタル予約アプリを活用したモビリティ・ハブ実証実験」が令和5年6月29日に採択されました。

この実証実験では、新八代駅に交通接続・乗換拠点（モビリティ・ハブ）の機能を整備し、駅周辺の回遊性を高めるとともに、新八代駅からくまモンポート八代間を繋ぐ新たな AI オンデマンドバスの導入などを行う予定です。

本実験を着実に実施することにより、市民の皆様の移動利便性の向上に向けた取組を進めるとともに、「スマートシティやつしろ」の実現に向けた取組みを推進してまいります。

1　採択実験　デジタル予約アプリを活用したモビリティ・ハブ実証実験

2　実験概要（別紙参照）

JR新八代駅において、AIオンデマンドバス・タクシー、レンタサイクル等多様な交通手段を接続させ、デジタル予約アプリを介してシームレスに利用可能とするモビリティ・ハブを整備することにより、駅周辺の回遊性を高めるとともに、JR新八代駅からくまモンポート八代までの移動手段の確保に関する実証実験を行う。

3　実証期間　令和5～6年度（2か年）

≪スケジュール（予定）≫

・令和5年度：新八代駅周辺地区モビリティ・ハブ推進協議会（仮称）の設置
　　現状・課題分析、実証フィールドの選定、デジタル予約アプリの開発等

・令和6年度：AI オンデマンドバス等の新交通サービスの実証実験
　　実証成果の取りまとめ

問合せ　企画政策課　　担当：西田・瀬戸口
TEL　0965－33－4104

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

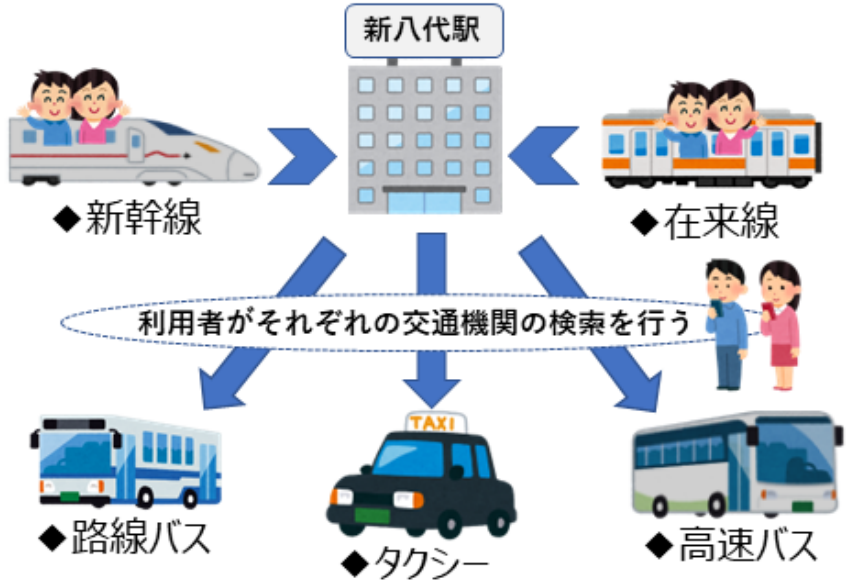
別　紙

デジタル予約アプリを活用したモビリティ・ハブ実証実験

○八代市には、九州新幹線が発着する「新八代駅」と国際クルーズ船の受け入れ拠点である「くまモンポート八代」という陸路・海路の大きな玄関口が存在。

○ポストコロナ社会における関係人口の拡大を見据え、**新八代駅を拠点としたモビリティ・ハブを整備することで、観光・ビジネス客等が多様な交通手段をシームレスに利用可能にする**とともに、移動手段が少ない**新八代駅とくまモンポート八代間を繋ぐ新たなモビリティを導入**することで、マイカーを持たなくても便利に移動できる交通ネットワークを形成。

現状



主な二次交通は３種類
くまモンポート八代行きの移動手段はタクシーのみ

将来像